7 計画の検討経緯等

7-1) 計画の検討経緯

第2次旭川市みどりの基本計画は、平成26年度・平成27年度（2014・2015年度）の2か年をかけて、旭川市緑の審議会（会長：江口尚文 旭川大学経済学部教授 ※平成27年8月までは旭川市緑の基本計画検討懇談会）で検討が進められました。また、2回の市民等意見交換会やパブリックコメントでは、市民の皆様から計画案に対して意見をいただきました。

■第2次旭川市緑の基本計画の検討経緯

■平成26年度の検討経緯

第1回懇談会（10/27）

- 1 緑の基本計画について・前計画の概要・みどりの現況
- 2 検討の進め方とスケジュール

第2回懇談会（12/19）

- 1 課題の整理
- 2 計画策定の基本的考え方

第3回懇談会（2/3）

- 1 計画の目標と基本方針・施策の柱
- 2 市民意見の聴取方法

第4回懇談会（3/9）

- 1 計画方針のとりまとめ
- 2 市民等意見交換会の実施方針

▶第1回市民等意見交換会の実施（3/25開催）

■平成27年度の検討経緯

第5・6回懇談会検討（6/11・7/9）

- 1 緑の基本計画（H26）の整理・H27の進め方
- 2 施策・数値目標の検討

▶みどりの市民アンケートの実施（8/10発送）

第1・2回審議会（8/27・9/16） ※8月より懇談会は緑の審議会に移行

- 1 施策別計画の審議（2回）

第3・4回審議会（11/4・11/27）

- 1 重点施策・配置方針・数値目標・推進方策の審議
- 2 計画素案の審議

みどりの市民
アンケートの
結果報告

▶パブリックコメントの実施（12/14～1/19・37日間）

▶第2回市民等意見交換会の実施（12/19開催）

第5回審議会（2/8）

- 1 パブリックコメントの受け止め方の審議
- 2 答申案の審議

▶答申（2/29）・第2次緑の基本計画策定（3月）

7-2) 旭川市みどりの審議会等

① 諮問書

旭公み第 236 号

平成27年8月27日

旭川市緑の審議会会長 様

旭川市長 西 川 将 人

旭川市緑の基本計画について（諮問）

緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な計画（旭川市緑の基本計画）の策定について、貴審議会の意見を求めます。

② 答申書

答 申 書

旭川市緑の審議会

平成28年 2月29日

旭川市長 西川 将人 様

旭川市緑の審議会

会長 江口 尚文

旭川市緑の基本計画について（答申）

平成27年8月27日付け旭公み第236号で本審議会に諮問された旭川市緑の基本計画の次期計画については、当初、平成26年度に設置された「旭川市緑の基本計画検討懇談会」から始まり、平成27年度に「旭川市緑の審議会」へ移行し、都合11回にも及ぶ審議において、活発な議論を行ってきました。審議会で達した委員各位の総意が十分に反映され、「第2次旭川市緑の基本計画（案）」として取りまとめられていることから、別添の計画案どおり決定することを適当と認めます。

なお、今後、計画に基づく具体的取組を進めるに当たり、別紙の事項について十分配慮されることを要望します。

また、本計画に基づき、「豊かな自然と都市が調和するみどりあふれるまちづくり」が着実に進められ、「川と田園が育むみどりの文化都市」の創造が図られていくことを強く期待します。

要望事項

当審議会において、計画案の審議の際に、次のとおり、個別課題が挙げられました。これらは今回審議した緑の基本計画に各論としては掲載しないものの、今後、計画を力強く推進していくために、各施策の実施・行動計画の立案の段階で留意すべき点であるため、要望事項とします。

- 1 数値目標の達成確認の際には、他の関連指標とあわせ多角的に解析するよう検討されたい。
- 2 グリーンベルト構想については、旭川のみどりの骨格として重要であるため、区域の指定とともに拠点の整備など目に見える形で展開するよう検討されたい。
- 3 公園の施設の安全性や防犯面において、市民評価が低いため、迅速な取組みを検討されたい。
- 4 環境教育の展開については、学校・教育委員会との連携を強化し、支援をきめ細やかにするよう検討されたい。

いずれも本計画の方針・施策に基づきながら、具体化していくための課題例であり、今後、市と市民で推進していくための行動計画の策定や事業調整にあたって、きめ細やかに配慮されることを望みます。

③ 旭川市みどりの審議会委員名簿

1)期間：平成27年8月27日～平成28年3月31日

2)委員：11名

会長：江口尚文，副会長：安藤秀俊

(五十音順, 敬称略)

委員名	所属等
安藤 秀俊	北海道教育大学旭川校 教育学部 理科教育教室 教授
安倍 あずさ	旭川市PTA連合会 副会長
石坂 辰義	旭川市市民委員会連絡協議会 会長
江口 尚文	旭川大学 経済学部 経営経済学科 教授
海老子川 雄介	(一社)旭川青年会議所 副理事長
遠藤 國雄	(一社)旭川観光コンベンション協会 専務理事
今野 義信	公募市民
齊藤 正明	NPO法人 緑の探検隊 理事長
酒井 健一	公募市民
中島 啓一	(公社)北海道宅地建物取引業協会旭川支部 副支部長
成田 一芳	旭川みどり21の会 会長

④ 旭川市みどりの審議会条例

○旭川市緑の審議会条例（平成27年7月3日条例第57号）

平成27年7月3日
条例第57号

（設置）

第1条 本市の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な計画その他重要な事項について調査審議するため、旭川市緑の審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（組織）

第2条 審議会は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する委員15人以内をもって組織する。

（1）学識経験者

（2）市長が適当と認めた者

（3）市内に居住し、又は通勤し、若しくは通学する者であつて、市長が行う公募に応じたもの

2 特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

（委員）

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 臨時委員は、その者の委嘱に係る特別の事項に関する調査審議が終了したときは、委嘱を解かれるものとする。

（会長及び副会長）

第4条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 臨時委員は、その者の委嘱に係る特別の事項について会議を開き、議決を行う場合には、前2項の規定の適用については、委員とみなす。

（部会）

第6条 審議会は、必要があるときは、部会を置くことができる。

2 部会は、委員及び臨時委員のうちから会長が指名する者をもって組織する。

3 部会に部会長を置き、その部会に属する委員及び臨時委員の互選によりこれを定める。

4 部会長は、部会の会務を掌理する。

5 前条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中「審議会」とあるのは「部会」と、「会長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

（庶務）

第7条 審議会の庶務は、土木部において処理する。

（委任）

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第3条第1項の規定にかかわらず、平成28年3月31日までとする。